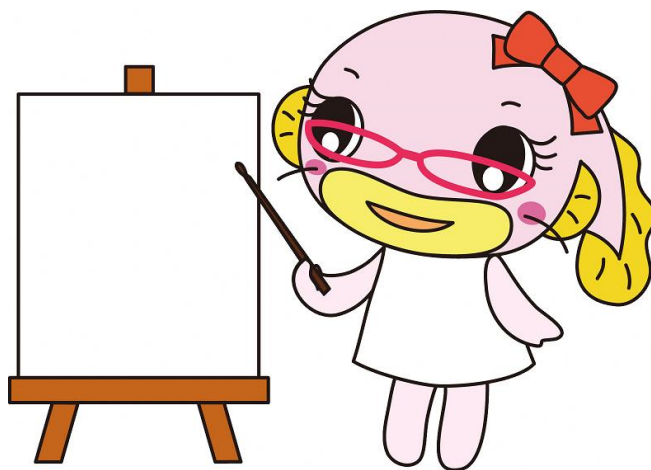

令和6年度吉川市

主な事業のあらまし

市民の皆さまからお預かりしているお金の
使い道などをご説明します。



©yoshikawa

基礎知識編

Q そもそも、予算とはなんですか？

A

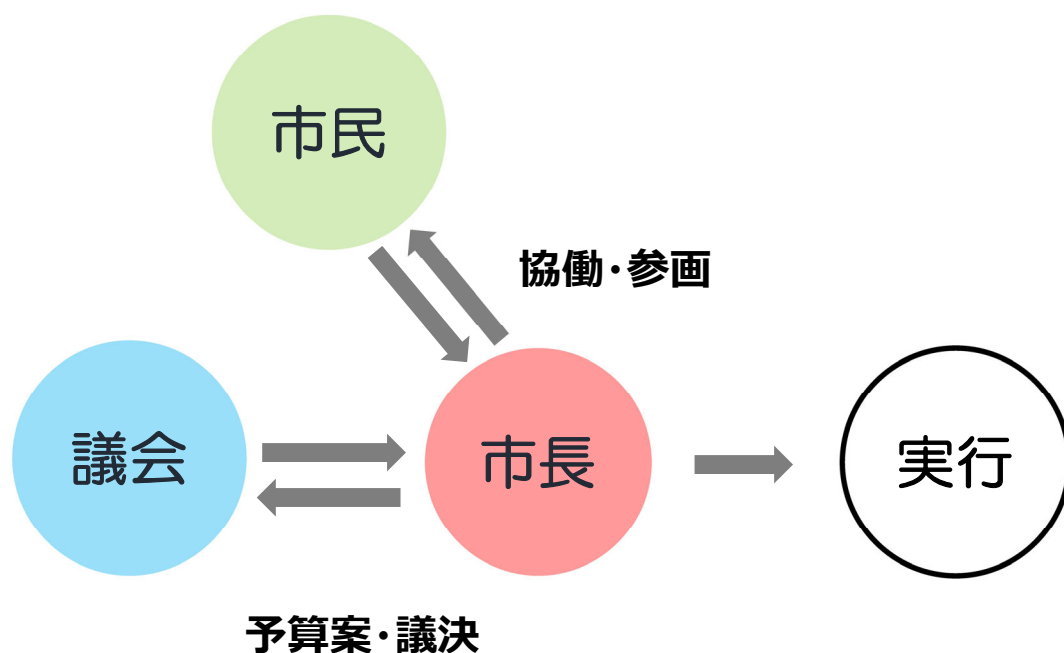
予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入を元にしてどのような事業を行うかを計画し、その費用を見積もります。

Q

予算はどのように決まるのですか？

A

市民の皆さまとの協働により策定した「総合振興計画」を踏まえ、市の担当部局が1年間の事業計画を検討します。市長は、担当部局との調整を重ね、予算案としてまとめ、市議会に提出します。市議会は、提出された予算案を審議した上で、議決によって予算を決めます。





令和6年度の吉川市の予算は？

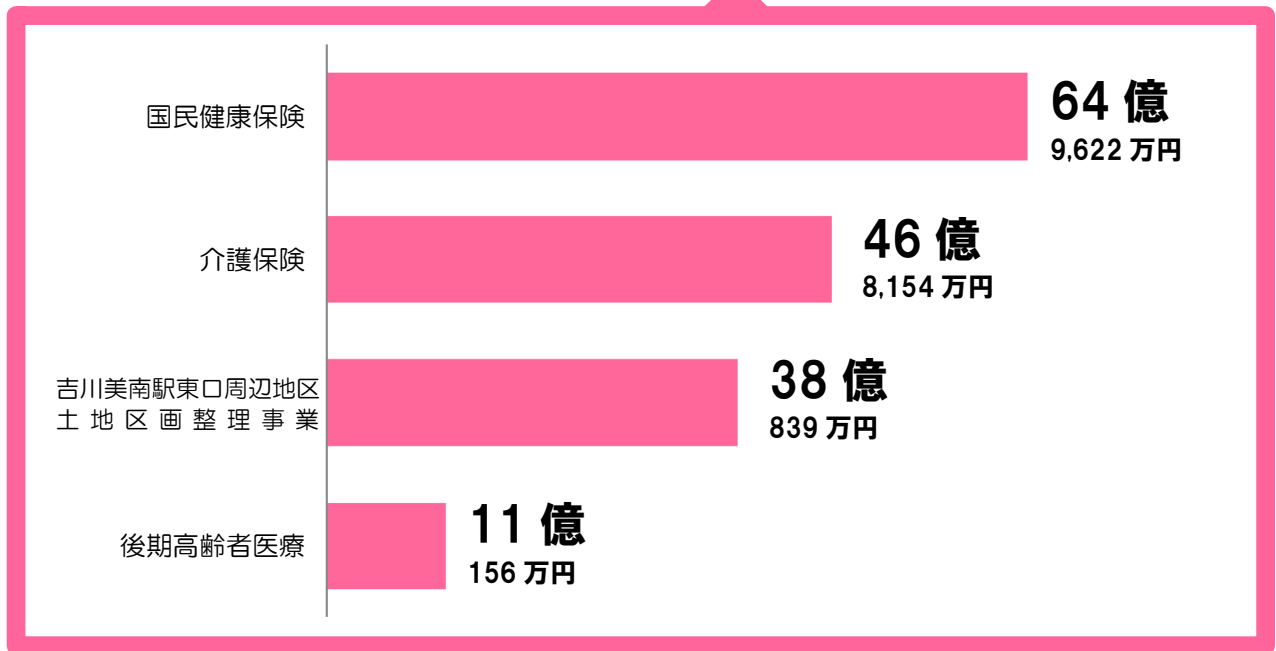


一般会計、特別会計、企業会計の予算を合わせると、

492億4,581万円 になります。

一般会計 277億 7,800万円	特別会計 160億 8,771万円	公営企業会計 53億 8,010万円
------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。	特定の目的の会計で、吉川市には4つの会計があります。	市が経営する企業の会計で、吉川市には水道事業会計、下水道事業会計、農業集落排水事業会計があります。
---------------------------------------	----------------------------	---



※公営企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額を予算額としています。

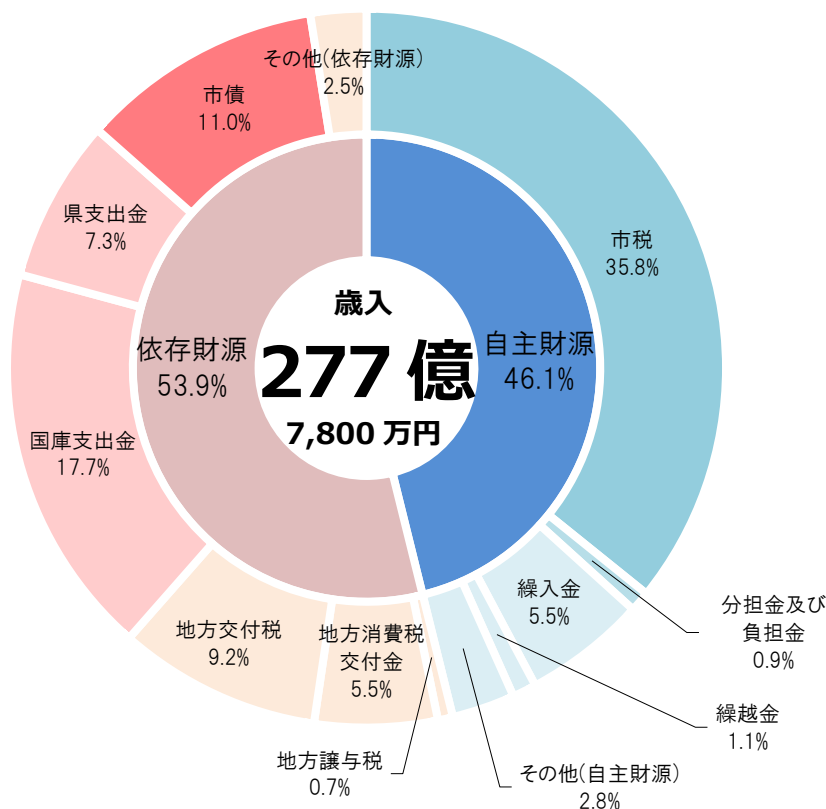
※本文及びグラフの数字は1万円未満を四捨五入しているため、予算書の予算額と一致しない場合があります。

Q

令和6年度の吉川市の歳入は？

A

一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。



～依存財源～

吉川市が国や県などに依存するかたちで調達する財源です。

●市債 30億 4,120万円

大規模な工事などの事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。

●国庫・県支出金 69億 6,187万円

皆さんが国や県に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体に交付されます。

●地方交付税 25億 3,900万円

皆さんが国に納めた税金の一部です。一定の割合に応じて地方公共団体に交付されます。

●地方譲与税 1億 8,950万円

国税として徴収した特定の税目の収入の一部が、一定の基準に基づいて地方公共団体に譲与されるものです。

～自主財源～

吉川市が自らの権能に基づいて自主的に収入できる財源です。

●市税 99億 4,485万円

市民の皆さんから吉川市に納めて頂く税金です。市民税、固定資産税などがあります。

●分担金及び負担金 2億 5,325万円

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

●繰入金 15億 2,927万円

一般会計と特別会計の間で相互に資金運用するためのお金や、各種基金(市の貯金)を取り崩して使うためのお金です。

●繰越金 3億円

前年度の支出を差し引いて余ったお金を、今年度の財源とするために繰り越した分のお金です。

歳出編

※支出のことを「歳出」といいます。

Q

令和6年度の吉川市の歳出は？

A

歳出は12の目的に分けられ、一般会計277億7,800万円のおよそ42.3%が児童手当や保育委託料、障がい・高齢福祉サービスなどの民生費で117億6,364万円となっています。また、性質別など違う角度から見ることで、吉川市の現在の状況などを知ることができます。

● **議会費** **2億1,267万円**

市議会の運営に必要な経費です。

● **総務費** **24億2,163万円**

市役所の全体的な仕事に必要な経費です。

● **民生費** **117億6,364万円**

社会福祉や児童福祉に必要な経費です。

● **衛生費** **20億1,139万円**

健康維持や環境保全などに必要な経費です。

● **農林水産業費** **2億7,414万円**

農業の振興や普及に必要な経費です。

● **商工費** **1億5,372万円**

商工業の振興などに必要な経費です。

● **土木費** **31億5,400万円**

道路や公園などの整備などに必要な経費です。

● **消防費** **12億6,035万円**

減災、消防などに必要な経費です。

● **教育費** **43億7,223万円**

学校教育、社会教育などに必要な経費です。

● **公債費** **21億3,894万円**

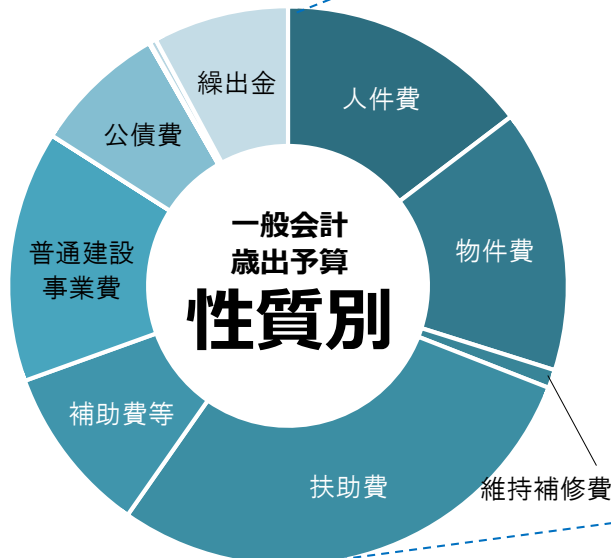
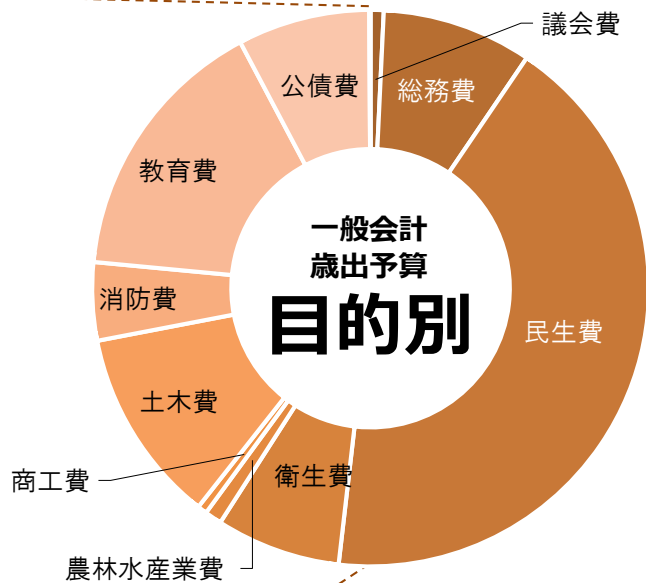
借入金の返済に必要な経費です。

● **諸支出金** **29万円**

ほかの支出に含まれない経費です。

● **予備費** **1,500万円**

緊急の支出に充てるために必要な経費です。



● **人件費** **40億7,222万円**

職員の給与などに係る経費です。

● **物件費** **42億2,680万円**

光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などの経費です。

● **維持補修費** **2億9,288万円**

市が管理する施設等の効用を維持するための費用です。

● **扶助費** **79億9,650万円**

子育て支援、障がい者支援、生活保護などに係る経費です。

● **補助費等** **27億1,514万円**

団体への補助や一部事務組合に対する負担金などの経費です。

● **普通建設事業費** **40億3,753万円**

道路や学校の改修など都市基盤の整備に係る経費です。

● **積立金** **28万円**

● **貸付金・出資金** **1億313万円**

● **公債費** **21億3,894万円**

● **繰出金** **21億7,958万円**

● **予備費** **1,500万円**

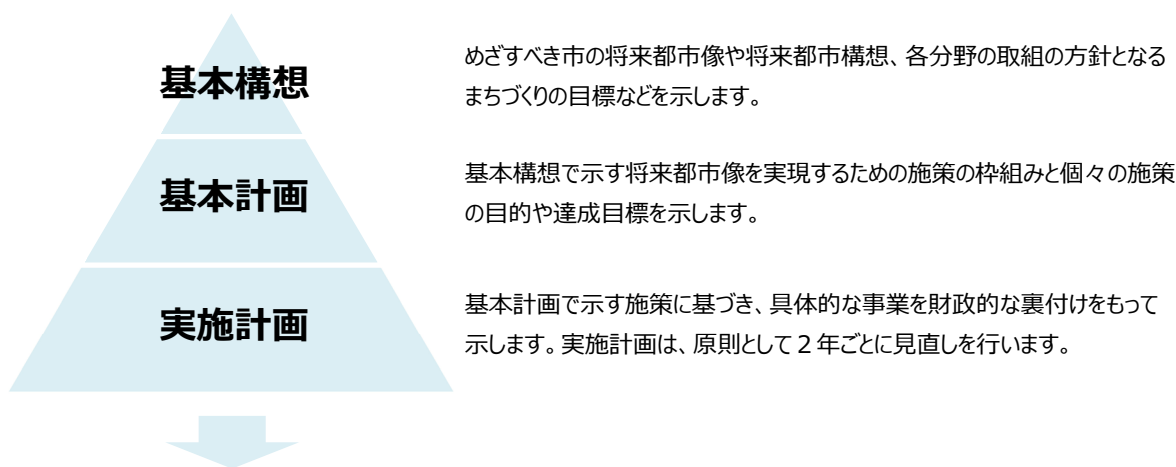
主要事業編

Q

令和6年度はどのような事業を行いますか？

A

吉川市で令和6年度に行われる事業の一部を、第6次総合振興計画・前期基本計画の重点テーマごとにご紹介します。総合振興計画とは、吉川市のめざすべき将来都市像「幸せつながる みんなのまち よしかわ」を実現するため、市政運営の長期的な指針を示すことを目的として策定するもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成しています。



まちづくりの目標として設定する施策体系のうち、前期基本計画において特に積極的かつ分野横断的に推進すべき取組を「重点テーマ」として位置付けています。

第6次総合振興計画前期基本計画施策体系

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| I 人を育むまちづくり <こども・学び部門> | V パートナースイップによるまちづくり <パートナーシップ部門> |
| II 支え合う健やかなまちづくり <健康・福祉部門> | |
| III 安心と賑わいのまちづくり <生活・産業部門> | |
| IV 快適で持続可能なまちづくり <都市・環境部門> | |
| | |

重点テーマ

I 命を守る

II 子どもの笑顔を未来につなぐ

III 誰もが輝くまちをみんなで創る

IV 価値を高め、次世代に継承する

● 災害への備え

- 北谷小学校を会場として、災害時に実際に起こり得る事象などを捉えながら、より実践的な減災プロジェクトを開催するとともに、各地区における出前講座などを通じ、地域における減災力の向上に取り組んでゆきます。
- 自衛隊や警察、消防など関係機関との連携強化を図り、引き続き、危機管理体制の充実に努めてゆきます。
- 災害時における避難者の良好な生活空間を確保すること、並びに子どもたちの学びの場となる学校施設の環境を充実させるため、令和6年度から令和7年度にかけて、避難所となる小中学校12校の学校体育館と総合体育館に順次、空調設備を整備してゆきます。
- 老朽化した大型エンジンポンプ車の更新などのインフラ整備を行い、引き続き効果的な治水対策に取り組めます。

● 生涯を通じた健康づくりの推進

- これまで、「生命を守る」、「生活を支える」、「地域経済を後押しする」という3大理念に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を進めてきましたが、令和5年5月には感染症法上の5類に位置付けられ、令和6年3月をもってワクチンの特例臨時接種が終了となることを踏まえ、国の動向を注視しつつ、定期予防接種としての実施体制構築に努めてゆきます。
- 生活習慣病予防については、引き続き、生活習慣の改善による疾病予防や重症化予防について、さらに力を入れて取り組むとともに、市民の自主的な健康づくりを進めるために、健康・体力づくりポイント制度やウォーキングリーダー養成をはじめとするウォーキング事業を実施してゆきます。

※事業の内容については、3月議会において市長が1年の市政運営の基本的な考え方や主要な施策について述べる施政方針から抜粋・編集し掲載しています。



主な事業費

減災・水防対策事業	3,775万円	吉川松伏消防組合負担金	10億8,949万円
小中学校体育館の空調整備事業	8億6,369万円	総合治水事業	7,754万円
健康づくりの推進に係る経費（予防接種を含む）			4億2,465万円

Ⅱ 子どもの笑顔を未来につなぐ



● 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- すべての妊婦、子育て世帯が安心して出産、子育てができるよう、子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点を中心とした、妊娠期から子育てまでの切れ目のない支援と伴走型相談支援の充実を引き続き進めてゆきます。
- 子ども医療費の対象年齢を18歳までに拡大し、子どもたちの健やかな成長をバックアップします。

● 若者支援

- 市社会福祉協議会とタイアップした大学受験料のサポート事業を引き続き実施するとともに、SNSを活用した支援情報の提供を継続し、加えて、若者支援の在り方検討会議を踏まえて、義務教育後の若者に対する「フリースクールの授業料等の助成事業」を試行的に実施してゆきます。

● 安心して子育てできる環境の充実

- 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業地内に「新たなこども一体拠点施設」の整備に向けた検討を進めます。
- 第2期子ども・子育て支援事業計画については、子育てに係るニーズ調査の結果をもとに、第3期計画を策定してゆきます。
- 保育を必要とするすべての子どもたちや家庭が安心して良質な保育を受けられるよう、保育士などへの研修会や情報交換会を充実させてゆきます。また、園外活動等における子どもの安全を確保するために、キッズゾーンを設定し、注意喚起を促すための路面表示や看板の設置のほか、一時預かり事業の利用上限等の拡充や、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の進捗に合わせた認可保育所整備に向けた準備など、保護者の育児負担の軽減や新たな保育需要に対応するための取り組みを進めてゆきます。

● 学校教育の充実

- 「学力・体力・非認知能力の育成」を図ることを理念に、デジタルテクノロジーを使って学習、創造し、責任をもって社会へ参画する能力を育成するためのICT教育や、子どもたちが自ら課題を見つけ解決する能力を養うための探究型学習（PBL）を推進してゆきます。
- 不登校支援については、学校と教育支援センターの中間的な居場所として、令和6年度に試行的に南中学校に校内スペシャルサポートルームを設置します。

主な事業費

子ども医療費支給事業	3億3,832万円	新たなこども一体拠点施設整備に係る経費	957万円
若者支援事業	175万円	保育・学童に係る経費	29億5,082万円
ICT教育推進に係る経費	6,390万円	不登校支援に係る経費	3,186万円

Ⅲ 誰もが輝くまちをみんなで創る



● 共に支え合う地域福祉の推進

- 貧困の連鎖を防止することを目的に取り組んできた、中学生と高校生を対象とした「子どもの学習支援事業」については、新たに児童館において小学校3年生から6年生を対象とする事業も展開してゆきます。

● 高齢者福祉の推進

- 「高齢者が幸福を実感し、すべてのひとが生涯にわたり居場所と役割を持ち活躍する地域」を理想像とする、3月策定予定の「第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域包括ケアシステムを推進するための介護予防・日常生活支援総合事業を継続して進めます。また、そうした中で、公共交通を補う移動支援に取り組む団体への支援や地域型介護予防教室、運動教室を実施し、高齢者の健康への意識の高揚、健康寿命延伸を図ってゆきます。

● 障がい福祉の推進

- 介護や保育などの福祉関連施設のスタッフ採用を支援するため、就職相談会を開催するとともに、引き続き、「ノブくんスマイル基金」を活用した障がい者就労支援に取り組みます。
- 「文化芸術による幸福実感あふれるまちづくり」の理念の下、「障がい者アート展」を引き続き開催します。

● コミュニティ活動と市民参画・協働の推進

- 地域住民相互の連帯感と自治意識の高揚を図ることを目的として設立した、まちづくり協議会による地域減災プロジェクト事業の支援や、市民シンクタンクやみらいステップアップ助成金事業により、未来につながる様々な施策を、市民と行政の共働により進め、「市民の幸福実感」のより一層の向上を目指します。

※ 共働 … 市民と行政が課題を共有し、解決に向けて共に動くこと。市長が掲げる理念の一つ。

主な事業費

子どもの学習支援事業	1,125 万円	障がい福祉の推進に係る経費	1 億 4,610 万円
高齢者福祉の推進に係る経費（在宅福祉の推進、日常生活の支援の費用を含む）			8,472 万円
コミュニティ活動と市民参画・協働の推進に係る経費			7,340 万円

IV 価値を高め、次世代に継承する



● 文化芸術の振興

- 第2回吉川市美術展覧会や郷土よしかわを舞台とした新たなシナリオによる演劇プロジェクト公演、また「市内の祭り」をテーマとした文化財展などを開催し、文化芸術の振興を図ってゆきます。

● 農商工業の振興

- 「下八間堀悪水路の改修」、「しんきぼりの整備」等の農業生産基盤の整備を進めるほか、今後の地域農業の発展に欠くことができない女性農業者の活躍に着目し、「女性と農業」をテーマとした啓発活動及びイベントを実施し、農業の新たな魅力の発信を行ってゆきます。
- 次世代の視点を取り入れた都市近郊農業の確立や、新たな農業拠点づくりなどを目指す吉川市農業パーク基本構想の実現に向け、引き続き、地権者との協議を進め、事業内容及び参入事業者の決定に向けて取り組みます。
- 産業フェアにおいて、次世代を担う子どもの職業体験も盛り込み、市内事業者の魅力発信に取り組むほか、「ものづくりアワード」の選定を通じて、市内企業の優れた技術力を市内外に発信します。

● 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業

- 吉川美南駅東口駅前の商業業務ゾーン北側街区においては、令和6年1月には優先交渉権者が決定し、地区の顔となる駅前のイメージが徐々に見えてきました。引き続き、駅前広場・2号調整池などの施設や宅地の整備などを進めるとともに、近隣公園北側付近の住宅ゾーンの使用収益開始を行い、さらに事業を推進してゆきます。

● 環境にやさしいまちづくり

- 令和3年4月に5市1町でゼロカーボンシティを共同で宣言して以降、率先して脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してきましたが、令和6年度より新たな電力の調達手法として、リバースオークションを県内で初めて採用し、市内すべての小中学校の電力について、再生可能エネルギー100%化を実現します。
- 環境センターにおいて、ごみの収集運搬、分別を学ぶ社会科見学を拡大するほか、夏休みに親子で参加する親子学習教室を実施するなど、引き続き環境教育に努めてゆきます。

主な事業費

文化芸術振興に係る経費	773万円	農商工業振興に係る経費	1億8,742万円
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業			37億5,464万円
ゼロカーボン推進に係る経費	1億1,676万円	ごみ処理・減量化の推進に係る経費	9億331万円

その他の主要な事業

● 公有財産の管理

- 総合体育館の長寿命化改修工事を行うとともに、中曽根小学校体育館については、空調機設置工事に合わせ、長寿命化改修工事に向けて設計を進めてゆきます。
- 旧庁舎跡地における福祉の拠点整備については、民間活用に向けて民間事業者とのさらなる対話や有識者などの意見を踏まえ、実施方針を作成の上、民間事業者の公募に向けた取り組みを進めてゆきます。
- 吉川美南駅東口駅前文化芸術関連施設を中心とした公共施設整備については、土地区画整理事業の進捗状況や商業業務ゾーン北側街区の優先交渉権者が決定したことを踏まえ、事業を進めてゆきます。

● デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進

- 人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるため、自治体情報システムの標準化に取り組むほか、「書かない窓口」「待たない窓口」「高齢者向けスマホ教室」を実施してゆきます。

● 道路・公園等の整備

- 越谷吉川線、三郷吉川線、三郷流山線や越谷総合公園川藤線及び令和6年度中に供用開始予定の三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化については、関係機関と連携を図り、事業を進めます。
- 吉川駅北口駅前ロータリーについては、安全性の確保を最優先とし、バリアフリー化などにも対応するため、関係機関や、駅利用者などのご意見などを踏まえ、実施設計を進めてきました。令和6年度は利用者の方への影響をできる限り抑えながら、交通島の撤去などの改修工事に着手してゆきます。
- インクルーシブ公園の整備については、障がいの有無や国籍、年齢、性別に関わらず、すべての子どもたちが分け隔てなく、共に憩い遊ぶことができる公園施設として、吉川美南中央公園内に整備を進めてゆきます。
- 三輪野江地内の大沢雄一元埼玉県知事の居宅跡地の整備については、土地所有者のご意向を踏まえながら、敷地の測量や実施設計を行ったうえで、自然を身近に感じながら憩い、遊ぶことのできる場及び環境教育の場としての整備を進めます。

● 市街化調整区域での課題に向けて

- 地域外からの転入及び3世代家族の同居及び近居に重点を置いた移住支援制度の創設、市民農園における「DAYキャンプイベント」などの開催により、旭・三輪野江地区の地域の活性化を促進してゆきます。
- 市民が「住み続けたい」と思うまちにするための取り組みとして、イベントスタンプラリーを実施するとともに、埼玉県などの共同運営の「SAITAMA 出会いサポートセンター」へ入会し、結婚を望む方を支援してゆきます。
- 地域公共交通計画の作成に着手するとともに、市内に本社を有する公共交通事業者の従業員の第二種運転免許取得費用に係る補助制度を創設し、運転手確保を支援してゆきます。

主な事業費

公共施設の長寿命化事業	7億4,672万円	旧庁舎跡地利活用事業	2,713万円
DX推進に係る経費	3億6,664万円	道路環境の充実に係る経費	5億7,336万円
公園等の整備に係る経費	2億6,131万円	旭・三輪野江地区の活性化に係る経費	410万円
公共交通の充実に係る経費		5,204万円	

～市長からのメッセージ～



● むすびに

◆令和6年度当初予算においても、市政運営における「理念」から、それぞれの事業の「完了後の展開」までを意識した上で編成を行いました。

その市政運営の「理念」とは、

- ① 「幸福実感があり、持続可能な未来」である「価値ある未来」を目指す。
 - ② そのためには、市民一人ひとりの主体的な行動も必要であり、「市民と行政の共動によるまちづくり」を力強く進める。
 - ③ 「6次総振」や「総合戦略」をはじめ、それぞれの分野・事業に打ち立てた「理念」をしっかりと踏まえる。
- であり、

「完了後の展開」とは、

「周知、報告、活用、連携、メンテナンス、ランニングコスト」などを意味し、

また当然、予算編成の基本的姿勢である

- ① 市税の確保
 - ② 行財政の適正化
 - ③ 事業効果の精査
 - ④ 世界、国、県の動向注視
 - ⑤ 民間との連携模索
 - ⑥ 部や課を越えての連携、
- などを踏まえ、職員と一丸となって、事業、そして予算を組み上げました。

◆事業の実施においては、

例えば、「吉川美南駅東口開発」や「三輪野江地区開発」などの大きなインフラ整備から、「地域の公園整備」や「生活道路整備」という市民生活に身近な整備まで、

また例えば、「調整区域の人口対策」という大きな視点が必要となる事業から、「障害者就労支援」「不登校・ひきこもり支援」などの一人ひとりに寄り添う事業まで、と事業の大小に関わらず、また庁内事業、庁外事業に関わらず、

全ての事業において、私を含め、職員一人ひとりが「地域・市民に対して、細やかに気を配り、共動の中で丁寧に事業を進めてゆく」という気持ちを強く持ち、令和6年度の市政運営も、「価値ある未来」へ繋がる一年となるよう力を尽くしてゆきます。

令和6年度吉川市主な事業のあらまし

【発行】吉川市
【お問合せ】吉川市 総務部 財政課
〒342-8501 埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地
電話 048-982-5967(直通)
